

令和5(2023)年2月17日

保護者のみなさま

枚方市立中宮中学校  
校長 町田 弘明

## 令和4(2022)年度 学校評価に係る学校教育自己診断アンケート結果について

12月に実施しました学校教育自己診断にご協力いただき、ありがとうございました。

今回のアンケートでは、470人の生徒の保護者のうち、48.5%にあたる228人の方からオンラインを活用した形式でご回答をいただきました(昨年度は55.8%)。全校生徒対象のアンケート結果とともに、今年度の教育活動を検証する貴重な資料として活用し、本校教育の充実を図ってまいります。

### 《アンケート結果の概要と分析》

回答「A あてはまる」、「B どちらかというにあてはまる」を合計して肯定的回答、「C どちらかというにあてはまらない」、「D あてはまらない」を合計したものを否定的回答とし、回答数に対する割合を算出して比較、分析を行いました。

結果の分析の中の数字は、基本的に「肯定的な回答(AとB)」の割合を提示しています。

※◆…生徒アンケートの結果 ◇…保護者アンケートの結果

※( )の数字は、%は昨年度R3の結果です。★は今年度新しく加えた質問です。

※在籍生徒数は470人(1年129人 2年168人 3年173人)

生徒アンケートでの1%は、学年では1~2人、学校全体では4~5人にあたります。

### 1. 生徒の様子と学校生活

◆学校に行くのは楽しい	90.8%(90.6)
◇子どもは学校に行くのを楽しみにしている	85.5%(84.0)
◆自分には良いところがある	82.2%(78.3)
◇子どもは自分に良いところがあると思っている	90.8%(87.7)

大多数の生徒が「学校に行くのは楽しい」と思っているようです。また、「自分には良いところ」があると、自分に自信を持っていることも、うかがえます。実際に今、中宮中学校では生徒たちの多くが学校生活を意欲的に楽しみ、積極的に学習や様々な活動に取り組む様子が見られています。

しかし、一方で9.2%(学級に3~4人)の生徒が「楽しい」と思っていないことや、新型コロナウイルスの影響などさまざまな事情で、学校に来られない生徒が増えていることが、今の大きな問題です。

本校では日頃の見守りに加え、各学期の生活アンケートや教育相談、Q-Uテスト(楽しい学校生活を送るためのアンケート)を取り入れ、生徒一人ひとりの不安や悩みなどをキャッチし、寄り添う支援に取り組んでいます。また、学校に登校しにくい生徒の個別の状況を踏まえて、スクールカウンセラーや不登校支援員、市の適応指導教室等とも連携し、保護者とともに支援をすすめています。

これからも、一人残らず全ての生徒が、「学校に来てよかった」「学校に行くと元気になる」という実感が持てる学校、すべての生徒が楽しいと思える学校生活の実現に向けて取り組みます。そのためにも、保護者との連携は、とても大切だと考えていますので、心配事など、遠慮なくご質問、ご相談ください。

## 2. 学校生活の様子

◆生徒会行事や委員会活動、学級活動に積極的に参加している	84.1%(88.6)
◆友だちと協力するのは楽しいと思う	96.8% ★
◆学校生活のルール(服装や持ち物、チャイム着席等)を守っている	97.9%(99.3)
◆毎日のそうじは、まじめに責任をもって取り組んでいる	95.7%(97.0)
◆自分からあいさつしている(心がけている)	85.5%(91.1)

今年、修学旅行、文化祭、そして体育祭といった学校行事、そして授業参観も実施できました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、新しい形で実施した文化祭や体育祭も、事前に生徒たちと内容を相談しながら、当日にはしっかり生徒たちの手で作りあげることができたのは、3年生を中心とした中宮中生の『みんなで楽しむことを大切に』という姿勢があったからです。これからも、この姿勢を力として、「自分たちの学校は自分たちで作る」という気持ちを育てていきます。

「チャイム着席など学校生活のルールを守る・毎日の清掃活動をさぼらない・すすんであいさつをする」の3つの生活習慣は、落ち着いた学校生活の土台であり、これが今の中宮中を支えています。また、これは、社会でのマナー『時・場・礼の心得』につながる生活習慣です。ご家庭でも、ご指導をお願いします。

## 3. 授業の取組み

◆授業はわかりやすい	88.9%(92.1)
	《3年 92.1%(91.8) 2年 87.2%(90.5) 1年 86.9%》
	※《 》は学年別、( )は昨年の2年、1年時の時の結果
◇先生はわかりやすい授業づくりに努力している	89.7%(86.6)
◆授業では、「めあて(目標・ねらい)」が示されている	98.4%(99.3)
◆授業ではペアやグループで話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができる	92.2%(90.6)
◆授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている	88.2%(91.9)
◆授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した	86.3%(89.1)
◆自分の思っていることや感じていることを相手にうまく伝えることができる	78.2%(82.5)※
◆自分とは違う意見について、聞いたり、考えたりすることは大切だと思う	98.4%(99.5)
◆授業では、わからない課題にぶつかった時、ノートや教科書などを調べたり、友だちや先生に質問したりするなどして、わかろうと粘り強く取り組めた	89.2%(90.4)
◆落ち着いた雰囲気の中で集中して授業を受けることができている	79.2%(74.8)
	《3年 83.6%(76.9) 2年 79.2%(62.8) 1年 73.6%》
◇学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている	78.4%(81.6)

「学校でわかったつもりでも、テストでは解けない」「初めて見る形式の問題に取り組もうとしない」「文章で説明する問題は無回答が多い」というのが、中宮中の学力面での課題です。くりかえし問題練習をやるだけでは、解決できないこの問題を克服するために、授業改善に取り組んでいます。これまでの教師の説明を、理解し、覚えるという「教師が教える授業」から、課題を、自分で考え、そして友だちと力を合わせて答えを導き出す「生徒が学ぶ授業」、「主体的、対話的な深い学びのある授業」への転換です。

アンケート結果のように「生徒が学ぶ授業」への転換は、生徒にとっては「授業が難しくなった」と伝わる面がありますが、これから大きく変化していく社会を生き抜く力を育てるためにも、大切な取り組みです。友だちとともに、粘り強く学ぶ力を育む授業を、子どもたちと共に、つくっていきます。

#### 4. 家庭での学習

◆普段(月～金)一日当どれくらいの時間学習をしていますか	1時間以上 54.0%(61.2)
◎2時間以上 29.0% ●30分未満+全くしない 28.5%	
◎「家庭学習ほとんどしない」=30分未満	3年 17.4%(18.4) 2年 39.2%(27) 1年 30.8%
◆家で学校の授業の予習や復習をしている	45.6%(57.3)
	《3年 57.0%(56.5) 2年 32.8%(53.3) 1年 49.5%》
◆家で自分で計画をたてて学習をしている	53.8%(57.3)
	《3年 63.6%(61.2) 2年 44.8%(50.4) 1年 51.4%》
◆教科の提出物や課題は、期限を守って提出している	80.9%(81.7)
	《3年 87.2%(81.6) 2年 83.2%(79.6) 1年 70.1%》
◇子どもは家庭での「学習」の時間を決めている	42.2%(47.2)
◇子どもは家で、学校の授業を復習している	42.5%(48.3)
◇子どもは家で、自分で計画を立てて勉強している	46.3%(48.7)

家庭での学習習慣では、やる人と、やらない人の差がはっきり表れています。

家庭で学習をほとんどやらない(30分未満)の人が40%近くいる学年もあり、学習した内容の確認や定着が不十分な人がたくさんいるのではないかと心配です。また、多くの人が、家庭で予習や復習を含めて、自分で計画をたてて学習する、つまり「自分に必要なことを考えて勉強をする習慣」がまだできていないようです。成績(評価)に直結する提出物や宿題だけではなく、学校で学んだことを、しっかり身につけるための学習(自分に必要な問題練習や、まとめノートづくりなど)や、自分が興味を持ったことについて深く学ぶ学習など、「自分に合ったことを、自分で考えてやる学習」を始めましょう。また、自分に合った勉強方法がわからない人は、教科担当の先生に相談してください。アドバイスをします。

◆先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれている	97.6%(98.3)
◆先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う	96.5% ★
◆先生は、困っている時にいつでも相談に乗ってくれる (学習でわからないところを教えてくれる)	97.0%(97.5)

学習方法だけでなく、友だち関係やそのほかの心配事や悩みなど、一人一人の思いを受け止め、寄り添った支援をすることが、生徒支援・生徒指導の基本だと考えています。学級担任だけではなく、学年の先生、保健室の先生やスクールカウンセラー、教頭先生や校長など、相談しやすい先生、相談してみたい先生に相談してください。困った時に相談してもらえる人間関係を大切にしたいと考えています。

#### 5. 子どもたちの意識、「人権意識」や生活習慣など

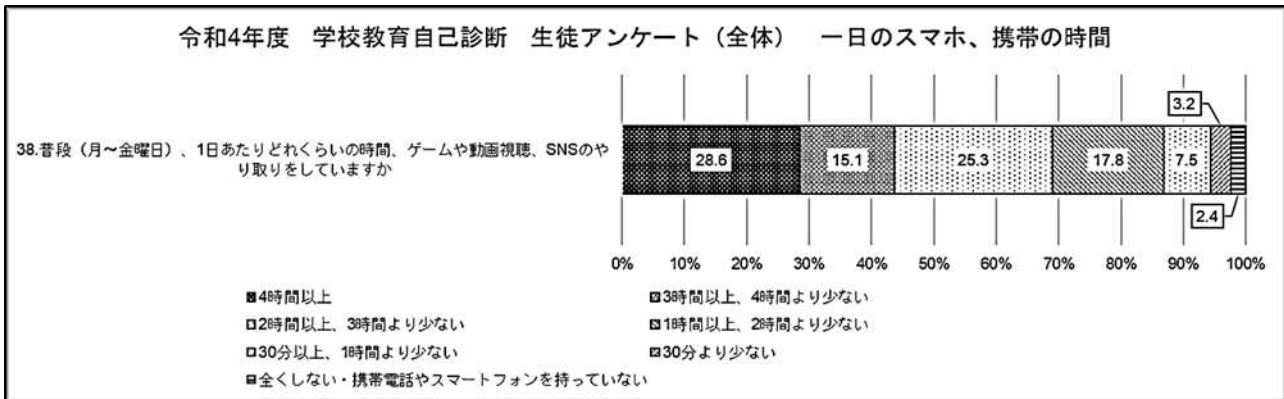
◆いじめは、どんな理由があってもしてはいけないものだと思う	98.4%(98.8)
◆人が困っている時、すすんで助けている	95.2% ★
◆自分の住む地域や社会をよくするために、何をしたら良いかを考えることがある	62.1%(60.7)
◆将来の夢や目標を持ち、実現するために、取り組もうと思っていることがある	78.4%(82.7)
◆新聞(Try Japanese のコラム、タブレットの中学生新聞を含む)を読んでいる	67.7%(72.3)
◆命の大切さや、人権について学んだり考えたりすることは大切だと思う	98.7%(99.5)
◆地震や台風、火災などが起こった場合、どのような行動をすべきかがよくわかっている	95.1%94.6
◇いじめ問題や社会で起きている問題などについて、子どもとよく話をしている	78.0%87.4
◇子どもと、学校生活や友だち関係など、一日のできごとを話す時間を持っている	80.3%81.0
◆朝食を毎朝食べている	90.0%(90.9)
	※肯定的回答のうち「あてはまる」は 74.4% 食べない&時々食べないが 25.6%になります。
◇子どもと食事や栄養、運動など健康的な生活習慣に関する話をする	77.2%★

多くの生徒が、いじめを許さないなど正しい人権意識を身につけ、友だちとの良い関係を築きたいという気持ちでいます。このように、「自分がどんな生き方をする人間になりたいか」を意識して行動できる力は、責任ある大人になるために、とても大切な力で、その育成は学校教育の目的でもあります。

今後も、「自分と社会を結び付けて考え、行動する力を育成する」ことを目標に、教科指導、生徒指導にあわせて総合的な学習、キャリア教育、防災教育など学校教育全般を改善、充実させていきます。

また、「自分を社会と結び付けて考える力」は、ご家庭での会話や関わりが土台になります。ぜひ子どもと話す時間を意識して持つようにしてあげてください。

## 5. スマホ、SNS との関わり方



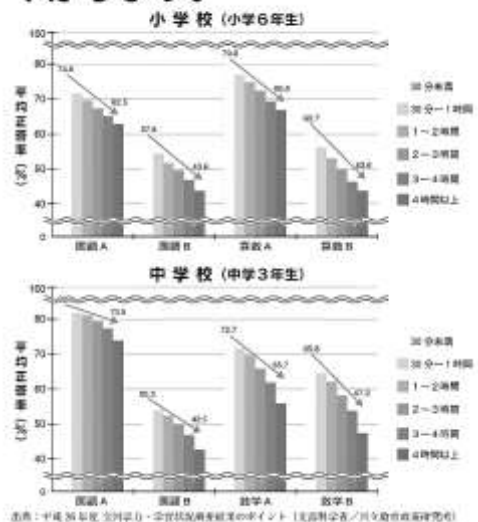
- ◆普段（月～金曜日）、一日あたりどれくらいの時間、ゲームや動画視聴、SNSのやり取りをしていますか  
4時間以上 28.6% 3時間以上 15.1% 2時間以上 25.3% 1時間以内、無し 13.1%
- ◆携帯電話・スマートフォン・コンピューターの使い方について、家の人と話したことを守っている  
守っている 64.1% だいたい守っている 27.3% やや守っていない 5.7% 守っていない 3.0%
- ◇子どもは、携帯電話やスマートフォンの使い方のルールやマナーを正しく守っている 65.7%(68.4)

「スマホ・携帯」の使用時間は、かなりの長時間になっています。毎日4時間以上もスマホを使っていたら、学習の時間を減らすか、睡眠時間を減らすしかないのではないのでしょうか。スマホを手放せない「スマホ依存症」という病気になり、脳に悪影響を受けている可能性も心配です。実際に、子どものスマホの長時間使用により、脳の成長が止まってしまうという研究結果を発表している研究者もいます。

スマホ・携帯電話を全く使わないのが難しいにしても、「スマホとの正しい付き合い方」を身につけましょう。例えば、スマホを手元から離して、使わない、気にしない時間をつくることも大切です。また、「勉強中はスマホを近くに置かない」「〇時以降はSNSは使わない」というルールを家族や友だちの間で決める、そんな家族関係・友だち関係を作りましょう。

1学期の「スマホ講演会」で篠原嘉一先生に教えていただいたように、スマホやSNSなどを使っている小中学生が犯罪に巻き込まれ、被害者になるケースが増加しています。個人情報流出やデジタルタトゥーの危険があることも忘れず、正しく使う力を身につけましょう。ご家庭では、子どもの使用状況を把握し、子どもたちの健康と安全を守ってください。

## スマホを使うほど、学力が下がります。



生徒用質問の肯定的回答の割合	今回	2021	保護者用質問の肯定的回答の割合	今回	2021
17.授業や給食だよりなどで、食の大切さ(重要性)を学んでいますか	89.8	93.6	4 子どもが興味を持ち、意欲的に取り組んでいる教科がある	80.9	81.4
18.自分で好きな本や新聞(トライジャパニーズを含む)を読むことがありますか	75.2	★	5 先生は子どもの意見や考えを大切にしている	91.1	85.9
29.授業で、よくタブレットを使っていますか	98.4	99.0	7 子どもは、学校行事や学級活動、部活動に積極的に参加している	89.9	90.7
30.タブレットを使った授業はわかりやすいですか	93.8	86.4	8 子どもは、悩みなど相談できる先生やスクールカウンセラーがいると言っている	60.8	59.5
35.トライ・ジャパニーズの課題(内容の意味調べや要約、感想の提出など)に取り組んでいますか	67.7	★	9 学校には、子どものことについて相談できる先生やスクールカウンセラーがいる	77.4	73.4
36.学校の図書館で、本を借りて読んでいますか	23.9	★	10 学校は、子どもに将来の進路や生き方について学習する機会を設けている	77.5	79.9
<b>本文の中に掲載していない質問 と 回答傾向(肯定的な回答の割合)</b>			11 学校は、子どもに命の大切さや人権について学習する機会を設けている	91.5	89.6
			12 学校は、子どもに防災について学習する機会を設けている	88.4	79.6
			13 学校は、学級・学年通信や学校だより、ホームページ(ブログ)などを通じて、学校の取組みや子どもの様子を積極的に発信している	91.0	89.6
			14 学校諸費(教材費・修学旅行費等)の内容や額は適切である	96.0	91.8
			18 子どもはタブレットを活用した授業はわかりやすいと言っている	76.3	86.6
			19 学校はタブレットなどの ICT 機器を使ったわかりやすい授業を行なっている	86.8	86.6
			20 タブレットを活用した家庭学習の課題が出されている	86.8	92.2
		21 子どもは、学校の図書館などで本を借りて読んでいる	19.7	★	

### 【保護者アンケートに寄せられたご質問やご意見について】

- タブレットで調べ物をするを当たり前させないで欲しい。このアンケートもスマホやタブレットだけでなく、パソコンから答えられるようにして欲しい。

タブレットは今後、シャープペンシルやコンパスのように「文房具」の一つとして使いこなせるようになるというのが枚方市の方針です。つまり、今後は教師からタブレットで調べなさいという指示が無くても、生徒がその時々で必要と思えば、テスト以外は判断して使えるようにすることになります。これを踏まえて、各教科で、手書きで文章を書く力も大切にしながら、ICTを活用する力の定着に取り組んでいきます。

ご指摘のパソコン対応も取り入れてまいります。配布文書のオンライン発信なども行いますので、状況に応じて学校配布の生徒用のタブレットをご活用くださいますよう、お願いいたします。

学校教育自己診断アンケートの実施方法については、より多くの保護者の方に協力していただけるよう、方法を検討し、改善いたします。

- コロナ以外で休んだ場合オンライン授業は対象外と、授業を受けることができなかったのが残念でした。

タブレットを活用したオンラインでの授業配信については、その後、新型コロナウイルス感染症での出席停止以外の場合でも、個々のお休みになっている状況によっては可能になりました。

お子様の状況を学級担任にお伝えの上で、ご相談ください。オンライン配信は、あくまでも緊急の臨時対応であること、体調不良時に負担にならないよう配慮することなど、留意事項を踏まえ、授業の進行などに支障のない形での対応を検討させていただきます。

- 勉強など、ついていけない子供達の事を考え、なぜついていけないか、先生の教え方であったり、雰囲気であったり、をもう少し考えて欲しいです。塾に行ける子供ばかりではないです。
- 授業を受けて、わからないところを聞きにいける時間枠を設けてほしい。

勉強が苦手な子どもに対する私たちの取組みがいたらないために、困っている生徒がいるというご指摘、厳しく受け止めさせていただきます。

本校では、ペア学習や学習班を生かしたグループでの協働学習に取組み、すべての生徒の学びを保障することを目指していますが、そうした中でわからないまま困っている生徒を、みすごさないよう改めて心がけていきます。また、一人一人の学びに目を向けながら、授業の進め方や課題の出し方についても、改善にしていきます。

授業の中でわからなかったところのフォローは、各教科で引き続き取り組みます。

現在は、テスト前に各クラスの教科係が教科担当の教師のアドバイスを受けて作った「テスト対策プリント」を使った学習会を行っていますが、さらにどのような取組みができるか、検討して実施します。

- 不登校(の生徒)が安心できる居場所を、もっと充実してほしい。スクールカウンセラーさんや、誰か安心できる人が毎日学校にいて、少しでも休める場所があれば、もっと学校に通いやすくなると思います。

本校でも、コロナ禍を境に学校に登校しにくい生徒が増えており、そうした生徒のための居場所づくりが課題となっています。不登校支援員の先生や空き時間の先生による、校内ルポでの支援体制や、スクールカウンセラーによる教育相談に取り組んでいますが、人数・施設ともに不足しています。引き続き市教委などに対応人材の拡充と施設の整備を要望、現状の中でできる取り組みを進めていきたいと思えます。

- 昨年度から保護者の意見として多数上がっていると思いますが、平均点を出して下さい。平均点を出さない事がそれほどまでに重要ならば、平均点が出ない事が、中宮中学の学力や子供達の意欲、姿勢を実際にどれだけ向上させ、どう関係があったのかを示して下さい。どんな綺麗事を言っても社会は競争社会であり、生きていく上で義務教育の基礎学力は大切です。他の中学と違う取り組みをするなら、すぐに結果は出なくても毎年、検証は必要です。平均点がないため、子供は努力しても報われたという喜びもなく、焦りもなく、漠然とした不安で混沌とくすぶった感情を抱えながら受験を見据え、より不安が高まっています。平均点がなければ、冷静な分析、目標点を定めることもできません。子供に平均点で一喜一憂させて終わるかどうかは保護者の責任でもありません。学校には、子供達を導くために必要な情報、数字を出してほしいと思います。
  - 定期テストの平均点、順位を公表してほしいです。
  - 平均点を生徒に知らせなくなってから、全体的に成績アップしてるのでしょうか？平均点を発表することで、頑張れる子もいると思います。平均点は発表すべきだと思います。
- ※同様の内容でのご意見が、このほかに6名の方からありました。

定期テストは、一人一人の生徒が、日ごろの授業で学んだことを十分に理解できているかを確認、テストの結果と向き合い、自分自身の日ごろの学びを、よりよくしていくための大切な取り組みです。本校では昨年度から、定期テストの間隔の差を整え、生徒が学ぶ授業時間を確保するために年間4回にしました。全国には、定期テストを廃止して単元等の節目にテストを実施している学校があり、本校でも単元末テストを実施する教科もあります。

いずれの方法でも、テストの目的は、日ごろの授業と同じように「目標(めあて)」に対して、自分がどこまで達成しているかを確認することです。そして、達成しなかったなら、その問題点を、達成できたならよかった点を、自分なりに「振り返る」ことで、よりよい自分の学び方を考えることが大切なのです。私たちは、テストの結果を振り返る時間も、これからの学び方を考える大事な「授業」であると考えています。

このように、私たちはテストだけを授業とは別の時間にするのではなく、授業と一体化した指導と位置付けて、「平均点」を提示することをやめました。平均点を生徒に提示することは、「自分の点数と平均点との比較」や「自分とまわりの人を比べること」を認めたり、すすめたりしているというメッセージを子どもたちに発信することになると考えたからです。学年や学級など集団のその時の状況により変動する「平均点」を、めざすべき「目標」と間違わせてしまうことも良くないと考えています。一方で、目標に基づいた到達度を考える目安として、観点別評価の目安となるA基準から75点、B基準から40点、教科によっては

問題の内容を踏まえて教科担当が別の目標点を示したり、これまでの自分のテスト結果をもとにした「(個人)目標点」を意識するように指導したりしています。

私たちは、このようにテストや評価、授業の改善だけでなく、教育活動の様々な取り組みを見直し、生徒たちが違いを認め合い、一人一人がたてた目標を尊重し、その達成に向けてともに学び合い、育ちあえる力を育てていきたいと考えています。この力は、これから大きく変化していく社会を生き抜いていくために、どの生徒にも必要な力だからです。

なお、平均点の公表をやめたことによる学力の変化については、同一集団で平均点を公表して同じテストを受けた場合との比較ができません。学びに向かう意識や、授業を大切に学び合う姿など、中宮中の生徒の成長を励みにしながら、よりよい指導と評価の充実をはじめ、学力向上に取り組んでまいります。

●タブレットでの授業受けるさい、つながらないことがある。プリントなどが無いため結局授業内容についていけない。

WiFi など、通信環境の状況によってタブレットが使えない時、プリントやノートを使った指導に切り替えるなどの対応をしていますが、急な対応で十分な配慮ができなかったことがあったようです。ご指摘の内容を教職員で共有し、「学び」に支障が出ないように取り組んでいきます。

タブレットの不具合については、市教委の担当と連携して、修理や代替りの機器の準備などを、できるだけ早くに進めてまいります。

●日々授業妨害が酷く、集中して授業に取り組みたい子も取り組めず本当に困っている

授業に取り組む姿勢については、各教科担当だけでなく学年の教職員が協力して指導に取り組むとともに、クラスや学年で「授業を大切にする取り組み」をすすめています。その結果、全体としては改善の方向にあることが、子どもたちのアンケート結果にも表れてきています。

しかし、残念ながらまだ、授業中に状況を判断できずに話をしたり、仲のいい友だちに教えてもらおうと立ち歩いたりするなどの場面があります。その都度、教科や学年担当が指導していますが、授業の妨害行為は、学校生活の根幹である「授業を受ける権利」を侵害する問題として、許さない指導をご家庭とも連携して徹底してまいります。

なお、ご心配なことは、学級担任はじめ学年の教師や生徒指導主事、教頭、校長にご相談ください。

●毎日少しでも宿題を出してほしいです

宿題については、各教科の指導内容を踏まえて教科担当から指導しています。多くの場合、宿題には、次の時間までの短期間でやって提出する小さな宿題以外に、教科によって単元全体に関わるような長期の大きな宿題や、レポート作成など課題もあります。大きな宿題の場合は、定期テストの時期に提出期限の場合が多いようです。

また、宿題ではありませんが、大切な「自主的に学習をする力」を育てる指導もしております。

ご家庭でもいつまでも「宿題以外やらない」「宿題でなければやらない」というのではなく、「自分で考えて、宿題じゃない自分のための学習をやる」習慣に変える習慣作りを始めてください。

●今後、教育のあり方、たとえば副教科など選択制になったり、定期テストではなく小テストの強化が行われたらもっとわかりやすくなるのでは、、、と思います。

高等学校では、さまざまな教科が選択制になっていますが、義務教育の段階では選択制ではありません。どの教科も、すべての子どもにとって、その可能性をひろげ、豊かな社会生活を送る上で必要なものとして学習しています。また、日々の授業の中で学習内容度合いや取り組みの姿勢を見取り、評価する取り組みについてはすでに取り組んでいますが、子どもたちの状況を踏まえ、小テストを生かした指導などより効果的な方法を研究してまいります。

今後も子どもたちの状況と、社会の変化を踏まえて、子どもたちの将来の豊かな生活につながるよう、指導と評価の充実に取り組んでまいります。

- 先生は生徒に対して誠実に向き合ってほしい。  
※このほか、教職員の指導に関わるご指摘、ご意見がありました。

生徒の教育にかかわる者として、生徒や保護者の方からの信頼を損ないかねない言動があったというご指摘があったことを校長はじめ該当の教員にも伝え、趣旨を所属教職員全員で共有させていただきました。今後、同様のようなことが無いように、そして改めて信頼回復に取り組んでまいります。なお、個別の内容につきましては、直接ご意見やお気持ちを聞かせていただき、お話をさせていただくことが適切かと思えます。ご希望される場合は、ご連絡をいただければ、ご相談させていただきます。

- 先日枚方市の中学生がいじめにあったという悲しい事をニュースで知り、残念でなりません。中宮も色々な道徳的な学習をしていただいているようですが、この事件に関して何も話がなかったと聞きました。この事こそ生徒に伝えてみんなで考える時間を少し取って頂きたかったです。いじめにしっかり取り組んでいる学校ならなおさらです。みんなで日頃から少し考えたり意見を出し合える時間を少し取り入れて行って頂けると少しは子供たちの意識に繋がればいいかなと感じます。

「いじめ」は、子どもたちにとって身近な人権侵害であり、重大な問題です。これまでも、機会をとらえて生徒たちと共に「いじめを許さないクラスや学校」について考える場面を設けてきました。

ご指摘の枚方市内で起きた「いじめ」に関わる報道については、事案の詳細が不明な中で、個人的な情報や間違った情報の拡散にならないようにという判断で、教職員のレベルで共有し、子どもたちの見守りに取り組みました。今回のご指摘を踏まえて、今後も十分な人権上の配慮をしながら、「いじめを許さない学校づくり」「人権侵害を見逃さない力の育成」に取り組んでまいります。

- 年間行事、学校行事等のプリント配布をもっと早くに出して欲しい。仕事の都合がつかない時がある。案内の紙を見ていて日本語が足りてなさすぎる。どうゆうことなのかたまたま理解できない時があるのでもっと詳しく書いて欲しい。
- ホームページなどからの日々の詳細な活動内容の発信

案内プリントの発出のタイミングの改善や、わかりやすい記載のしかたについて、担当に共有して改善をすすめます。また、ホームページについては今後、担当の在り方など改善策を検討したいと思います。

- (このアンケートの)回答欄に、「わからない」の項目も入れてほしいです。「どちらかという当てはまる」を選んだ問いは、だいたい「わからない」です。
- 先生様たちには感謝しかありません、(このアンケートの)質問事項はもう少し、先生の気持ち、親の気持ちを考えた質問が入っていたら良かったのかな。

中宮中学校をより良くしていくための大切なアンケートに関していただいた、ご意見を受け止め、形式や内容などこれからも改善をすすめていきたいと思えます。

- 中宮中学の先生はとても優しく一生懸命頑張ってくださいありがとうございます。お友達もとても優しく、心より感謝しています。
- 中宮フェスタにPTAとして参加しました。前日準備にラグビー部員がテントをたててくれたり、当日ボランティアに来てくれた男子生徒さん達が自ら考えてテキパキ手伝ってくれた事、改めてありがとうございますとお礼を言いたいです。
- 文化祭はコロナ感染予防対策で、各学年の保護者を時間で分けていただいたのがよかったと思います。中宮フェスタでは、飲食は止めゲーム等の事で地域の子どもたちに楽しい時間を作っていた、行事に関係された方々に感謝しております。

※この他にもたくさんのご意見をいただきました。全教職員で共有させていただきました。